

SCAT



2026年10月期 第1四半期決算補足資料

2026年3月13日

東証スタンダード市場・名証メイン市場 証券コード3974

SCAT 株式会社

Solution and Creation All customers Together

ソリューションと創造を、全てのお客様と一緒に



1. 第1四半期決算の概要

- ・決算ハイライト&見通し
- ・株主還元

2. トピックス

3. 中期経営計画の概要（2024.10～2026.10）

4. 会社概要



決算ハイライト

2026年10月期 第1四半期 決算概要

SCAT

Purpose

ICTの提供による中小企業支援を通じた社会貢献

2026年10月期
財務目標
マイルストーン

連結売上高：26億円
連結経常利益：2億円
経常利益率：7%超
ROE：7.0%・PBR：0.7倍

経営資源配分計画
単年度2.6億円
(投資方針：売上約10%)
※M&A等を除く

人的資本投資
80百万円

開発投資
100百万円

DX推進投資
30百万円

成長その他投資
50百万円

基本方針：Plus1 —成長と深化の取り組み—

重点施策（グループ共通項目）

成長戦略
価値創造

新サービス提供と業容拡大

商品品質・サービス品質の向上

Webマーケティングの加速

リスクマネジメント

個と組織
の成長

人的資本のブラッシュアップ

多様な働き方・マネジメント向上

経営基盤
の強化

サステナビリティ経営

コーポレートガバナンスの充実

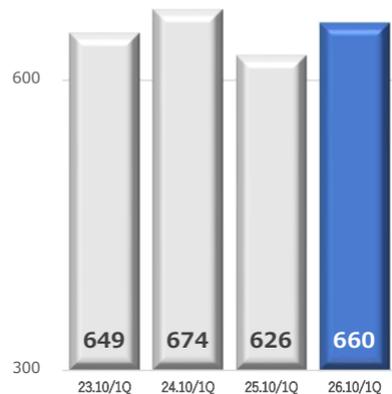
企業価値向上目標
(非財務目標)

- ◆ワーク・ライフ・バランス
 - ・各KPI目標のクリア
- ◆ダイバーシティ
 - ・男女雇用比 55：45
 - ・管理職男女比 8：2
- ◆業務効率：DX化計画の進捗
- ◆ガバナンス

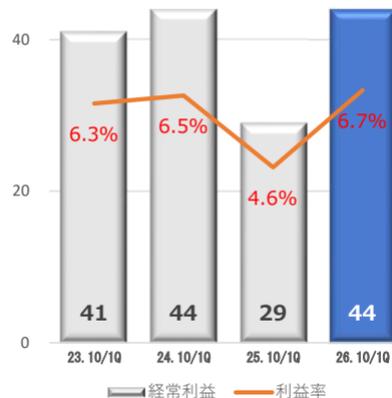
全社

- 中期3ヵ年計画の仕掛け
 - ・成長戦略の推進のための基盤づくり（事業改善・効率化）
- 不安定な国内外の情勢、しかし社会のDX化が後押し
 - ・不安定な国内外の情勢（円安・物価高、個人投資への影響）
 - ・情報通信業界では、IT・DX関連サービスの提供需要（追い風）
- 当初計画通りの進捗。
 - ・主力の美容ICT事業は、システム販売中心→ストック型収益モデルへ転換
リース販売買替対象ユーザーがコロナ禍の販売ユーザーのため減少見込み
→新商品リリースで販促強化（新規顧客・買替ユーザーへの販売促進）
 - ・ストック型ビジネスの着実な積み上げで損益を押し上げ
（保守コンテンツ売上・ビジネスサービス・介護施設入居者確保）
 - ・成長及びサービス向上のための人財確保
- 新コンテンツや新しいサービス
 - ・AIの活用による新たな仕組みの構築
 - ・サロン集客支援サービスの拡充（新コンテンツ・Ver-UP商品リリース）
 - ・経営革新等支援機関：中小企業向けコンサルティング・サービス拡充
- アライアンスの拡充

《連結売上高》 単位：百万円



《営業利益》 単位：百万円



単位：百万円

	2025年10月期 第1四半期実績	2026年10月期 第1四半期実績	増減率	2026年10月期 通期見通し	対前年度 増減率	進捗率
売上高	626	660	5.5%増	2,630	1.0%増	25.1%
売上原価	385	401				
売上総利益 (粗利率)	241 (38.5%)	259 (39.2%)				
販管費	211	214				
営業利益	29	44	52.6%増	200	3.9%増	22.2%
経常利益	29	45	55.1%増	200	1.9%増	22.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17	28	57.9%増	126	0.7%増	22.5%

□ 計画通りの進捗 → 前期より売上・利益とも順調に推移

□ 売上：美容ICT事業が好調（Windows10の保守終了に伴う入れ替え、課金型ストック売上の伸長）
ビジネスサービス事業も順調、介護サービス事業は入居率低下が損益に影響

※各事業セグメント合計値との差額は不動産等収益によるものです。

単位：百万円

	2025年10月期 第1四半期実績	2026年10月期 第1四半期実績	増減率	2026年10月期 通期見通し	1Q進捗率
売上高（※）	626	660	+5.5%	2,630	25.1%
美容ICT事業	353	402	+13.7%	1,533	26.2%
ビジネスサービス事業	79	80	+1.3%	330	24.4%
介護サービス事業	189	174	▲7.9%	752	23.2%
セグメント利益（※）	29	44	+52.6%		
美容ICT事業	3	33	+932.9%		
ビジネスサービス事業	7	8	+6.3%		
介護サービス事業	15	0.1	▲99.2%		

美容サロン ICT

システム販売中心の収益構造から、ストック型収益モデルへの転換を推進
前期からのWindows10のサポート終了に伴う入れ替えへの対応
AIの活用による新たな仕組みづくり。（システム及びコンテンツの進化）

ビジネス サービス

コアの会計サービスは増収・増益
クライアントの財産管理サービスの拡充（宅地建物取引業・リスクマネジメント）
お客様からの口コミ、地銀・土業からの新規紹介が増加。

介護 サービス

介護付き有料老人ホームの入居稼働率が低下（各種イベントや地域連携強化により入居希望者増）
在宅介護サービスも疾病感染防止を徹底し高い利用率を維持
質の高い介護サービスの維持・拡充のための人件費や介護スタッフ補充に伴う採用活動（将来投資）

単位：百万円 ※）参考：経営指標

	2025.10期 (期末)	2026.10期 (1Q期末)	増減
流動資産	1,615	1,570	▲45
現預金	1,240	1,227	▲12
固定資産	1,419	1,389	▲30
有形固定資産	911	902	▲8
無形固定資産	202	193	▲8
ソフトウェア	128	134	5
ソフトウェア仮勘定	65	54	▲10
のれん	7	3	▲3
投資その他資産	306	293	▲13
資産合計	3,035	2,959	▲75
	2025.10期 (期末)	2026.10期 (1Q期末)	増減
負債	997	915	▲81
流動負債	482	408	▲74
固定負債	514	507	▲7
純資産	2,038	2,044	5
株主資本	2,035	2,041	5
利益剰余金	2,321	2,326	4
負債純資産合計	3,035	2,959	▲75

	2024.10期	2025.10期	2026.10期 (1Q)
1株あたり純資産	686.19円	650.74円	652.35円
1株あたり純利益	35.87円	43.76円	9.06円
自己資本比率	66.2%	67.2%	69.1%
自己資本利益率 (ROE)	5.3%	6.3%	1.4%
3ヶ月平均株価	416円	558円	547円
PBR (倍)	0.61	0.86	0.84
末日株価	388円	505円	571円
PBR (倍)	0.57	0.78	0.88

《主な増減要因 (B/S)》

□資産の部

- ・現預金：納税・賞与・配当金の支払い
- ・固定資産：償却による減少

□負債の部

- ・流動負債：納税・賞与等の支払い
- ・固定負債：借入金の返済

□純資産

- ・利益剰余金の減少：配当金の支払い

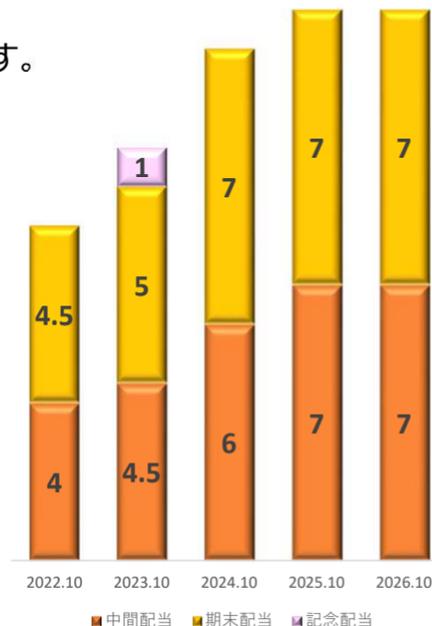
■ 2026年10月期の配当予想（利益還元）

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、「安定配当を基本とした継続的な株主還元」を行うことを基本方針としております。

年間配当予想：14円（中間配当7円、期末配当7円）

※）現時点では、前年同様の配当（普通配当）を予想しております。

	1株あたり配当金（直近3ヵ年）		
	中間配当	期末配当	年間配当
2026年10月期 予 想	7円 (前期据置)	7円 (前期据置)	14円
2025年10月期	7円	7円	14円
2024年10月期	6円	7円	13円



2025年10月期
名証上場記念優待



2026年10月期
東証上場10周年記念優待



2027年10月期
定常的な株主優待制度の導入

【2025年10月期】 **名古屋証券取引所重複上場記念優待**

- ・対象者：2025年10月末時点での100株以上所有株主
- ・優待品：QUOカード1,000円

【2026年10月期】 **東京証券取引所上場10周年記念優待**

- ・対象者：2026年10月末時点での100株以上所有株主
- ・優待品：QUOカード1,000円

【2027年10月期】 **定常的な株主優待制度の導入**

- ・条 件：保有期間：長期保有（1年以上）を推奨
保有株数：保有株数に応じた優待品の差別化

株数	期間	
	1年未満	1年以上
100以上～200未満	該当無し	QUOカード 500円
200株以上	QUOカード 500円	QUOカード 1,000円

※）株主優待制度の内容について変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。



トピックス

SCAT

美容業界のワンストップ・ソリューションを提供



システム販売強化1

「Sacla Premium Plus - DX Partner for Beauty - を販売開始。

Sacla

Premium⁺

DX Partner for Beauty



システム販売強化 2

美容ディーラーにおけるDX推進サポートの一環として

「DEALERS Plus - DX Partner for Beauty -」を販売開始

DEALERS⁺

DX Partner for Beauty



販売・仕入れ・在庫管理機能を核に、データに基づいた運営改善と顧客対応を支援することで、経営力向上にお役立ていただけます。

サブスクへ加速1

美容サロンにおけるDX推進サポートの一環として、
「cloud karte」を販売開始。（電子カルテ）

cloud karte



美容サロンオーナー監修による
現場に寄り添う【技術カルテ】 【同意書】

サブスクへ加速2 AIの活用による自動集客

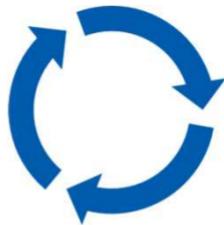
- サロンの集客/離脱防止等にAI技術と連携
AIを活用し自動集客へとつなげる

日々のレジ業務行うだけで

CRMで対象顧客を自動抽出

配信内容に合わせた
文面/画像をAIによって作成し

サロン顧客に自動配信



バックオフィス業務を軽減し、サロンワークの時間を増やすことで生産性向上に役立ちます

新商品を次々とリリース

美容サロン様向けクラウド型CRMシステム

「Halca -connect-」 を販売開始（2026年3月1日より）

AI活用の自動集客支援から美容サロンの経営改革をサポート

Halca
-connect-



- CRM機能を核にデータに基づいたAI機能で自動で集客
- クラウド型システムのためiPad一台でご利用いただけ、省スペースサロンにも導入可能
- 「cloud karte」（電子カルテ・同意書）との完全連動

特徴

- ・地域密着で創業以来56年培われてきた信頼と実績
- ・法人・個人1,000件のクライアントへのサポートにより蓄積したノウハウの活用
- ・公認会計士・税理士・司法書士・弁護士・金融機関・保険会社・弥生(株)・他のコンサルタントと連携しワンストップでのビジネスサービスを提供



お客様

弥生  認定インストラクター17名在籍

ビジネスサービス事業部
多彩なメニューでお客様をサポート



認定経営革新等支援機関



会計

給与

販売管理

保険

法務労務

事業計画

補助金

エキスパート集団との連携によるワンストップサービス

専門家集団

公認会計士

税理士

司法書士

弁護士

行政書士

金融機関

社会保険労務士

宅地建物取引士

生命保険・損害保険各社

■ 介護付き有料老人ホーム運営（3施設：定員約160名）



みずき佐野（栃木県佐野市）



みずき館林（群馬県館林市）



みずか小諸（長野県小諸市）

栃木県佐野市（約70名） 群馬県館林市（約30名） 長野県小諸市（約60名）

※）ご夫婦で入居により若干の変動有り。

- ご家族・口コミによる高い施設評価
- **入居一時金なし**による入居しやすいシステム

■ 介護事業の原点

介護を通して地域に貢献。安らぎと活力を提供する。



やすらぎと安全安心な
介護サービス



自由でわがままな
暮らしの実現



元気の源は
おいしい食事から

■ 自由でわがままな暮らしの実現

自宅と出来るだけ変わらない自由でわがままな暮らしの実現
安心・安全・快適な介護サービスの提供

- ・ **快護**：介護ではなく**快護サービス**（介護福祉士割合高い）
- ・ **食事**：素材にこだわった心を込めた手づくりの食事を提供
- ・ **環境**：高級感あふれる落ち着いた住環境



■ BCP（事業継続プログラム）

大規模災害や感染症の拡大等の有事の際にも
安心・安全な生活の実現の為の備蓄や計画を整備

■ 訪問型サービスの拡充

日常のちょっとした困り事のお手伝い（介護保険適用外もOK）
→ **利用者とその家族のニーズに合ったサービス提供**

■ 働きやすい職場環境

- ・従来の週休2日に加え、**週休3日**制度の導入（正社員）
- ・フリーバカンス休暇・資格取得支援
- ・永年勤続表彰制度・子育て支援プログラム等

※）とちぎ介護人材育成認証制度 **3ツ星**獲得



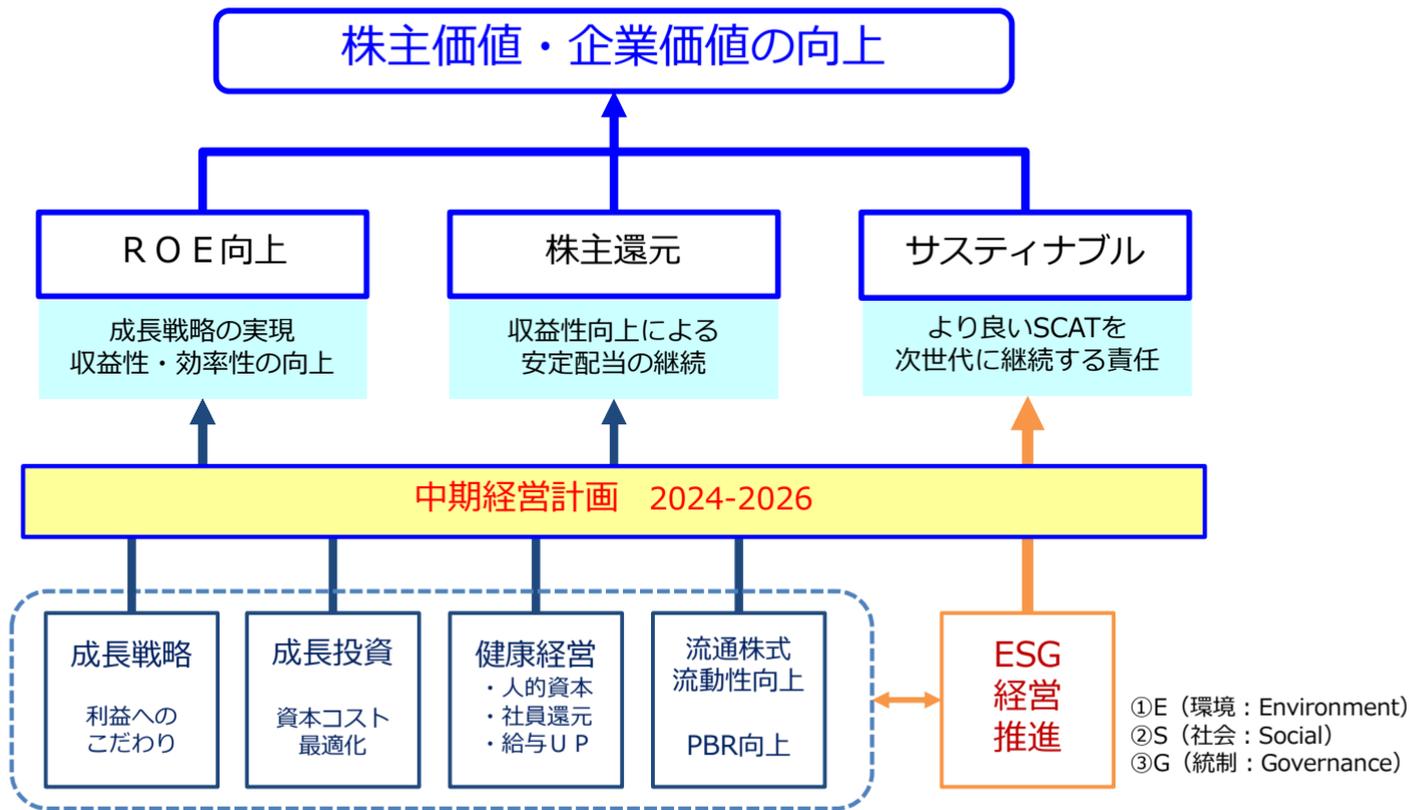


中期3カ年経営計画の概要

- 株主価値・企業価値向上のための施策 -

2024年10月期 - 2026年10月期

SCAT



理美容業界におけるDX推進、並びに持続可能な環境経営支援（SDGs）環境配慮型メニューの一環として、株式会社日本HPの提供する「HPカーボンニュートラルコンピューティングサービス」、及び「PCリユースプログラム（安全で持続可能なPCの再利用）」に参画し、カーボンニュートラルによる環境への取組みの見える化を実現しました。



- 株式会社日本HP 会社概要
代表者：岡戸伸樹
住 所：東京都港区港南1-2-70
企業URL：<https://www.hp.com/jp-ja/home.html>

■カーボンニュートラルの考え方を採用

- 日本HP社の提供する「HPカーボンニュートラルコンピューティングサービス」、及び「PCリユースプログラム」を採用。
- このサービスはPCの原材料調達から使用、破棄まで、各デバイスのCO2排出量を算出して、オフセット（相殺）する。
- オフセットは国際的に信頼されている専門機関の厳格な基準であるカーボンニュートラルプロトコルに従い、精度の高いカーボンフットプリントの算出後実行される。
- オフセットが適用されたPCはカーボンニュートラルなPCとなる（証明書発行も可能）。
- 単にカーボンクレジットを用いたカーボンオフセットでは実現できない現状考えられる最も環境に配慮したPCの提供、その効果の見える化ができる。

■ソリューションの効果

- ① 取組みの実績値が証書という形で「見える化」できる。
- ② 関連組織や消費者に「説得力のあるデータ」を提供できる。
- ③ 企業として、持続可能性を意識した自社の取組みが可視化できる。
- ④ 企業の社会的責任や環境保護に対する意識を高め、気候変動に対する貢献が期待できる。



会社概要

SCAT

使命・理念

- ◆ ICTの提供による、中小企業への経営支援を通じた社会貢献
- ◆ 常に新しい商品、新しいサービスの開発に挑戦し、顧客の創造を事業目的とする。

会社概要

名称	SCAT株式会社
証券コード	3974
株式市場	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場
設立	1969年12月設立
資本金	2億円
代表	代表取締役社長 長島 秀夫
小山本社	栃木県小山市城東1-6-33
東京本社	東京都港区芝浦1-2-1
従業員数	連結 190名（2025年10月末）
売上高	連結26億円（2025年10月期）
事業	美容ICT事業 ビジネスサービス事業 介護サービス事業
子会社	TBCシルバーサービス株式会社（介護）

ESG推進目標

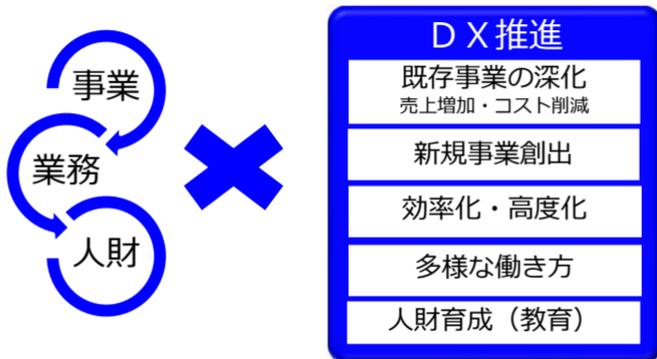
マテリアリティ	具体的施策	SDGs
環境問題への取り組み Environment	《資源リサイクルの促進》 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス化推進（75%削減目標） ・再生エネルギーの活用 ・環境にやさしい営業車導入 	
豊かな情報社会のDX推進 Social (DX)	《DX推進》 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTシステム提供と普及（テレワーク推進） ・B to B to C におけるICT推進 ・ビジネスの効率化（脱ハンコ） ・レガシーシステムをゼロにする 	
活き活きと活躍できる社会の実現 Social(働き方)	《健康と福祉》 <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの提供による高齢者支援と地域貢献 《働きやすい環境づくり》 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方とキャリア支援 ・女性活躍の推進 	
公正で透明な企業活動 Governance	《ガバナンス体制の維持・強化》 <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレートガバナンス高度化 ・コンプライアンスの徹底 ・適切なリスク管理の実践 	

● DX認定事業者



DX認定制度は、国（経済産業省）がDX推進が整っている、“DX-Ready”な事業者を認定します。

当社は、デジタルガバナンスコードに対応し、
更なるDX推進に努めてまいります。



● IT導入支援事業者

中小企業事業者の生産性向上のために、ITツールの提案・導入支援をはじめとし、各種申請等の手続きのサポートを行います。



● 経営革新等支援機関

当社は、中小企業支援に関する専門的知識や実務経験が一定レベル以上にある者として、国の認定を受けました。
中小企業の経営力強化を図るために事業計画策定・実行支援、経営状況分析等専門性の高いさまざまな支援事業を行います。



《本資料に関する注意》

- ・この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・今後新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

《問い合わせ先》

I R担当者 : 取締役 執行役員 経営管理本部長 高橋 栄
E-mail : ir@scat.inc
T E L : 03-6275-1130

東証スタンダード市場 証券コード3974

SCAT 株式会社

Solution and Creation All customers Together

ソリューションと創造を、全てのお客様と一緒に